

# 活動レポート

## リージョナルステート研究委員会

文責：リージョナルステート研究委員会代表 滝澤嘉史  
副代表 中田光治

### 北海道水素地域づくりプラットフォームへの入会及び活動報告

#### ～水素を活用した地域づくりと地域貢献～

#### 1. はじめに

平成27年5月に「北海道水素地域づくりプラットフォーム」が設立されました。当該組織への参加者は、国、地方公共団体、有識者、民間企業、関係法人などで、事務局は国土交通省北海道開発局です。当会の活動内容としては、水素を活用した地域づくりに関する意見交換、情報の交換、先進地の視察、地方公共団体や民間企業の先進的取組みへの支援などです。

私たちリージョナルステート研究委員会では、最近、水素循環システム研究分科会を立ち上げ、水素を活用した地域づくり、地域振興をテーマとして研究活動を行っており、この会の目的と同じ方向性と認められたため、平成27年10月にこの会に参加することにしました。

今後は、この会が主催する会議や視察に積極的に参加することにより、私たちの当初の目的を達成し、地域に貢献していきたいと考えています。今回、平成28年1月に札幌市内で開催された平成27年度第2回会合に参加しましたので、その報告をさせていただきます。

#### 2. 平成27年度第2回会合への参加報告

プラットフォーム第2回会合は、開会宣言のあと最初に座長挨拶として北海道大学名誉教授の佐伯浩先生から、北海道の経済の特徴として、現在化石燃料への依存度が高いものを将来的に再生可能エネルギーへ転換し、経済に好循環を生み出す必要があること、日本は水素エネルギー活用で世界でトップクラスの技術を有していること、これを活用することで安全で住みよい北海道を構築していくべきであること等のお話がありました。

次に、第1部プラットフォーム会合として、会員からの情報提供がありました。

最初に事務局担当の北海道開発局から本会合の活動に関し、平成27年度の活動報告、28年度の活動計画等の話がありました。

次に、国土交通省北海道局から、平成27年11月に実施した海外視察についての報告がありました。訪問国はドイツで、エネルギーを所管している政府機関、主要都市、再生可能エネルギー、水素エネルギー施設等の視察に関する報告がなされました。

経済産業省北海道経済産業局からは、北海道地域定置用燃料電池システム普及促進連絡会の設置及び開催状況の報告がありました。

北海道環境生活部からは、北海道水素社会実現戦略ビジョンに関する報告がありました。当該ビジョンが目指すべき方向は、地産地消を基本とした水素サプライチェーンの構築、低炭素で安全・安心な地域づくり、環境産業の育成・振興というものでした。

札幌市からは、札幌市温暖化対策推進計画に基づき、燃料電池自動車（FCV）の普及に向けた取組み、燃料電池の普及に向けた取組みの報告がありました。

室蘭市からは、燃料電池自動車の導入とこれに関する自動車の仕様、移動式水素ステーション、安全装置、市内設置場所等についての報告がありました。

その次に私たちリージョナルステート研究委員会の滝澤代表から私たち委員会の概要、平成27年度の活動報告、28年度の活動計画等が報告されました。私たちの水素エネルギーに関する取組みは、まだ始まったばかりであり、今後本プラットフォームメンバーの皆様方と情報交換、ご指導、ご鞭撻をお願い

いしながら技術士として何ができるか、社会に対して貢献できることは何かなどを考えていきたいという話をされました。

民間企業からも多くの発表がありました。エア・ウォーター株式会社からは、将来の水素サプライチェーンのイメージ図が示され、バイオガス化施設の普及、全国に先駆けた水素ステーション建設の報告がありました。

株式会社東芝からは、再生可能エネルギー由来の水素利活用の取組みとして、長崎県のハウステンボスに自立型水素エネルギー供給システムを導入した事例を中心とした報告がなされました。さらに、東芝では釧路地区に水素サプライチェーンに関する実証実験を平成 27 年 7 月から開始しているそうです。

株式会社日本製鋼所からは、水素エネルギー製品群に関するお話がありました。その中で中心となった製品は、水素吸蔵合金(MH)に関するもので、その特徴や MH 水素貯蔵タンク、構成水素蓄圧機等の最新の製品の紹介がありました。

第 2 部のパネルディスカッションでは、北海道大学大学院工学研究院の近久武美教授をコーディネーターとし、パネリストとして、工藤広稚内市長、株式会社谷グリーンエネルギー研究所代表取締役の谷義勝社長、株式会社 NTT ファシリティーズスマートフォンビジネス本部の榎本裕幸課長、横浜市港湾局の中村仁課長補佐、国土交通省北海道局の鎌田照章参事官の 5 人が登壇されました。

パネリストの皆さんは、再生可能エネルギーの導入、地域分散型エネルギーシステム、水素エネルギーの活用への取組み、水素の製造・輸送・貯蔵技術、エネルギー・セキュリティなど水素を活用した地域づくりに関して幅広く情報提供、意見交換を行い、大変有意義な時間を過ごすことができました。

### 3. 終わりに

今回のプラットホーム第 2 回会合に参加できたことで、水素社会の実現に向けた関係機関の取組み、水素の製造・運搬・貯蔵技術、水素を活用した自動車、水素ステーションなど、幅広い技術を体得する

することができました。

私たちリージョナルステート研究委員会では、今後も北海道における水素を活用した地域づくり、水素社会の実現に向けて勉強していきたいと考えています。

今後も、水素技術に関する情報があれば会員の皆様方に提供していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

[以下に、当日の会合の写真を紹介します。]



写真 1 座長の佐伯浩先生の挨拶



写真 2 RS 研滝澤代表の活動報告



写真 3 プラットホーム会合の会議風景